

読書活動推進NEWS

「あづま号がやってきた!」～只見町立朝日小学校～

「あづま号」とは、主に県内の図書館未設置町村をサービスエリアに巡回し、読書施設の運営相談・図書館活動の促進・読書グループの育成等にあたっている県立図書館所属の移動図書館のことです。

今回は、5月18日(木)に只見町立朝日小学校を訪問した様子取材しました。



準備を急ぐ担当の高橋さん



車内はもちろん、外にも「自然系」「物語系」・・・たくさんの本が並べられます



選書する表情は真剣



友達が手にした本も気になります



「ここからここまで借りて読んだよ」



大事そうに抱えながら教室へ



早速自分の席で本を開きます



公民館の方も借りに来られていました



朝日小学校図書担当の目黒先生は、「事前オーダーを汲んで学校にないような本を準備し、定期的に訪問してくれるあづま号はありがたい存在です。」と話してくださいました。齋藤校長先生は「登校時、今年は絵本から卒業して物語にするんだと話してくれた児童がいました。あづま号訪問をとっても楽しみにしているようでした。返却までの期間が長いことも助かっています。」と話してくださいました。朝日小学校の児童にとって、あづま号は貴重な存在となっています。